

令和7年度
自己評価 報告書

学校法人21世紀アカデメイア
専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー
作成:令和8年5月15日

令和7年度自己評価表

1.教育理念

○信じる力

プロになるためには、なにより「信じる力」が必要です。夢を追いかけている自分自身、ともに切磋琢磨する仲間たち、いつもサポートして下さる先生やご家族を信じてください。「信じる力」は、夢を叶えるための最も大きな原動力になります。

○プロ意識

私たちは授業を通じて、あなたを学生ではなく、プロの卵として接します。だからこそ、常に「プロ意識」をもってください。挨拶に始まる社会性やコミュニケーション力、時間や期限の厳守、人前での立ち居振る舞い。これらが、プロとして認められることに繋がるのです。

○考え、行動する

与えられた業務をただこなしていても、プロにはなれません。自らアイデアを考え、実現するために行動し、世の中に送り出していく必要があります。常にアンテナを張り、トレンドやニーズを意識してください。あなたの努力が、「感動」をもたらすのです。

2.教育目標

社会や経済の国際化・情報化が加速する中、各業界の専門分野において戦力として期待される人材を養成する教育機関としての使命は大きく、業界そのものの活性化をも担っている。

本校では、プロとして活躍し続けるための「業界力」をつける教育を行っている。

「業界力」とは

- ① 「コミュニケーション力」
- ② 「自己管理能力」
- ③ 「主体力」

を身につけることから生まれるもので、業界・企業との連携を基に組織的かつ実践的な教育を行い、社会人としてふさわしい「業界力」の高い人材育成を目標としている。

「コラボレーション教育」を目標・計画し遂行している。

- ① 企業とのコラボレーション
 - ・技術力の向上
 - ・多様な実践授業の実施
 - ・業界のプロから学ぶ
- ② 学科間のコラボレーション
 - ・コミュニケーション力の向上
 - ・イベント内容の充実度向上

令和7年度自己評価表

3.評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・理念・目的・育成人材・特色・将来構造等が学生、関係業界、保護者等に周知がなされているか	4	3	2	1
・学科の教育目標、育成人材は、学科に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

①現状の取組状況

教育理念、目的、人材育成像は学校教育の重要な柱であり、学習案内、入学式、オリエンテーション、研修会等様々な機会を通じ、学生、教職員、関連企業、保護者に対し周知を図っている。
業界の意向を踏まえたシラバスの策定により、各業界のニーズに合わせた人材育成を行っている。

②課題

特になし。

③今後の改善方策

特になし。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

①現状の取組状況

教育理念に基づき、事業計画を策定、全職員が学校運営の目的を認識するために、会議、研修を通して情報を共有している。

②課題

事務システムの効率化と、入学前、在学中、卒業後の情報管理システムの統一が必要。

③今後の改善方策

新システムの導入

令和7年度自己評価表

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確か	4	3	2	1
・学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・演習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標に向け授業を行う事が出来る要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保する等マネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

①現状の取組状況

各学科学年で行う会議や、教育課程編成委員会でのご意見をもとに、業界で活躍する人材育成のためのカリキュラムを策定。インターンシップや実習を適切な時期に行えるように、単位表の見直しを図り、修業年限での目標達成を実現。授業評価の実施及び評価体制の一つとして、学生へアンケートを実施。問題点には迅速に対応している。職員の資格取得の機会を設けている。

②課題

特になし

③今後の改善方策

教員の指導力向上のための研修実施

令和7年度自己評価表

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

①現状の取組状況

資格取得については、各学科で必要とする資格を定め、カリキュラム等でフォローしている。業界で活躍できる人材育成のカリキュラムの中で、学科、キャリアサポートセンター、留学生サポートの担当が連携し、学生の目的達成のためのサポートを行っている。

②課題

卒業生の情報統括・意見集約の強化が必要である。

③今後の改善方策

卒業生同窓組織アカデミア・ネクサスと連携し、卒業生の縦の繋がりを強化する。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に対応しているか	4	3	2	1

①現状の取組状況

学科担当とキャリアサポートセンター、留学生サポートチームが連携し、学校生活や就職に対して行っている。週に2日のカウンセリングルームの設置、事務局からの奨学金のお知らせ、指導・サポートを学生課による健康診断、寮の状況把握、生活指導を行っている。保護者には成績表やお知らせを配布し、連絡体制も整っている。

②課題

特になし

③今後の改善方策

特になし

令和7年度自己評価表

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①現状の取組状況

業界でのアルバイト、インターンシップは、学生の希望や目標に沿った現場を紹介している。建物は耐震であり、3日分の飲食等の防災用品を完備、防災マニュアルを出席簿に添付し周知している。

②課題

新しい機材・ソフトが次々出てくる業界であるので、将来性を考えた適切な投資が必要である。

③今後の改善方策

特になし

(7) 生徒募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか	4	3	2	1
・生徒募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・生徒募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4	3	2	1

①現状の取組状況

高関与をテーマに、入学検討者の声に耳を傾けている。内定・就職、企業の求人等の情報は、正確な情報開示に努めている。高校からの学校見学等の依頼は積極的に対応し、学園での就職イベントでは、接続機関向けのガイダンスの実施で、情報提供を行っている。

②課題

特になし

③今後の改善方策

特になし

令和7年度自己評価表

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
	・中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	4	3	2
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

①現状の取組状況

入学者の安定確保が財務基盤において不可欠であり、全職員で同じ意識で取り組んでいる。また収支予算の予測、支出状況の把握につとめ、バランスの取れた収支状況の実現に努めている。学園での業務監査を実施し、迅速な問題改善を実施。財務状況をホームページで開示する。

②課題

特になし

③今後の改善方策

特になし

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

①現状の取組状況

法令及び専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っている。情報管理については、教職員及び学生の個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、適正に管理している。

②課題

特になし

③今後の改善方策

特になし

令和7年度自己評価表

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

①現状の取組状況

「千代田区一斉清掃」「山王祭」「日本テレビ通り納涼盆踊り大会」など地域行事へボランティア活動の奨励・参加、スタジオの貸し出し、技術協力等で、地域・社会に貢献している。

②課題

公開講座、教育訓練の実施は、地域にとってのニーズも含め今後の課題として取組んでいきたい。

③今後の改善方策

地域や、関連業界へのヒアリングの実施。

(11) 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っている	4	3	2	1
・受け入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
・学習効果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1
・校内での適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

①現状の取組状況

法人海外広報担当部署と校内留学生担当の連携により戦略策定を実施。各方面の留学支援企業との提携で多くの国からの受け入れを計画している。

日本語学校を定期的に訪問し、入学前～卒業後まで留学生担当より都度報告を行っている。

留学生との個別の対応で、手続きを間違いのないように行っている。

②課題

国際交流団体などとの積極的な関わり合いを増やす活動についても課題として取組んでいきたい。学生達の進路の報告など日本語学校との関係強化を行う。

③今後の改善方策

WEB上のSNSなどを更に多く活用し、多くの地域での認知度アップを計る。